

電波時計 取扱説明書 (デジタル電子音目覚まし時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造販売元 **リズム時計工業株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

(Y1502)

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みのうえご利用ください。

●修理部品の保有について

電子回路などの修理用性能部品は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより、修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合

お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ○は、禁止（してはいけないこと）を示しています。

●は、指示する行為を必ず実行することを示しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

! 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない必ず守る

万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

⊘ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る禁止

- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。

⊘ 電池が液漏れをしたときは、素手でさわらない

●電池から漏れた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。

●液漏れしたときは、電池を外して、漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店またはお客様相談室にご相談ください。

注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

! 電池の⊕⊖を正しく入れる必ず守る

液漏れや発熱により、故障やけがの原因になります。

⊘ 分解や改造をしない

分解禁止
故障や破損の原因になります。

⊘ 落としたり、たいたいたりして衝撃を与えない禁止

故障や破損の原因になります。

⊘ 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない

さびや故障の原因になります。

⊘ 濡れた手でさわらない

さびや故障の原因になります。

⊘ 下記のような場所では使わない禁止

性能の低下や部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 温度が+50℃以上の所。
- 温度が-10℃以下の所。
- 暖房機器などからの風が直接当たる所。
- 火気のそば。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気が発生する所。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プールや温泉場など、ガスの発生する所。
- 調理場など、多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質することがあります。

電池のご注意（電池の正しい使いかた）

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス（+）、マイナス（-）を間違えない。
- 時計が動いていても定期的に変換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 幼児の手が届かない所に置く。

電池の種類について

●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。

●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

電池の寿命について

●電池寿命は温度などの使用条件により、製品仕様より短くなる場合があります。

取扱説明書にそった正常な使用状態で、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計をお買い上げ販売店にご持参くだされば、無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。

- 保証書は再発行いたしません。
- 部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
- この保証書は国内のみ有効です。
This guarantee is valid only in Japan.
- ご記入いただきました個人情報、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

※印は販売店記入

※品名・型番 **8RZ084**

※保証期間
お買い上げ 年 月 日より1年間

お客様ご氏名 様

ご住所

TEL() -

※販売店印(住所、店舗名、電話番号)

保証について

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
7. ご使用中に生じる外観上の変化（ケースなどの小キズ）。
8. 電池の交換。

※送料・出張料は、実費をいただきます。

お問い合わせ先

お客様相談室 **0120-557-005** (フリーダイヤル)

受付時間 9:00～17:00 (土日、祝日および当社休日を除く)

お問い合わせに際しては、時製品番号(型番)「8RZ084」をお伝えください。

電波時計について

電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な日時に修正する時計です。

標準電波送信所は、福島県の「福島局:おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(http://jij.nict.go.jp)

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。海外でのご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてお使いください。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

おもな製品仕様

使用温度 -10～50℃ *結露しないこと
液晶表示可読温度 0～40℃
時間精度 標準電波受信成功直後 ±1秒
標準電波を受信しない場合
平均月差 ±30秒 (温度が5～35℃のとき)
使用電池 単4形マンガン乾電池 * JIS規格 R03P 1個
電池寿命 約1年 アラーム:30秒 / 日鳴らしたとき
標準電波 標準電波を受信して日時を修正
受信局 福島局/九州局自動選択
受信回数 1日8回
受信 ON/OFF ボタン操作にて切替可能

*単4形アルカリ乾電池を使用することができます。

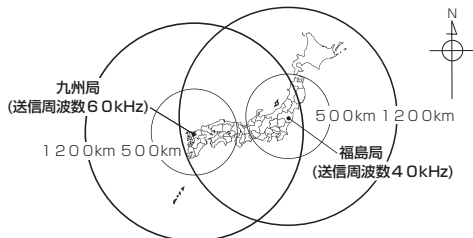
※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなったり、表示が薄くなる場合があります。40℃以上になると表示が濃くなったり、ムラに見えることがあります。温度が0～40℃になれば正常に戻ります。

※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品 取扱説明書・保証書 本書

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。



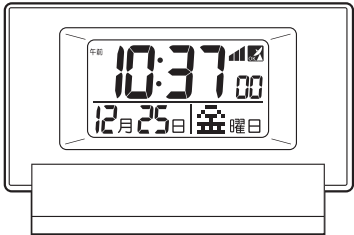
この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電池は付属しておりません。単4形マンガン乾電池または単4形アルカリ乾電池を1個ご用意ください。

各部の名称と役割

※図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

(正面)



- 液晶表示は見る角度によって、見えにくくなったり、ムラに見えることがあります。
- 透過式の液晶を使用していますので、表示部の背景によっては、見えにくくなります。

電池を入れるときは、電池ぶたを着脱してください。

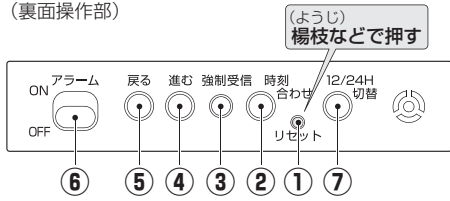
(底面)



電池ぶた 単4形乾電池 1個

注意 電池の⊕⊖を指示と逆向きに入れると液漏れ、発熱、破裂の危険があります。

(裏面操作部)



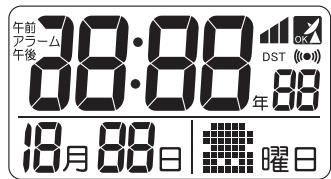
- ①リセット — 誤作動を防ぐために電池を入れた直後に押す。押すと2008年1月1日午前12:00、アラーム時刻午前6:00になります。
- ②時刻合わせ — 手で日時を合わせるときに使用。
- ③強制受信 — 押すとすぐに受信を開始します。
- ④進む — アラーム時刻や手で日時を合わせるときに使用。
- ⑤戻る — 操作 押してすぐ離す 押し続ける
進む 1つ進む 早送り
戻る 1つ戻る 早戻し
- ⑥アラームスイッチ — アラームのON/OFFスイッチ。
- ⑦12/24H切替 — 時刻表示形式を切り替える。

1. 使いはじめるとき(電池を交換するとき)…電池を入れて日時を合わせる

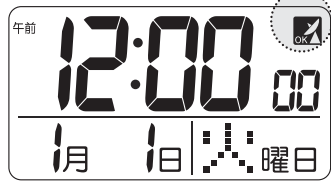
標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせるときには、**手動での時刻合わせ**をお読みください。

【受信の流れと表示】

〈リセットを押した直後〉



受信マーク (受信中点滅)



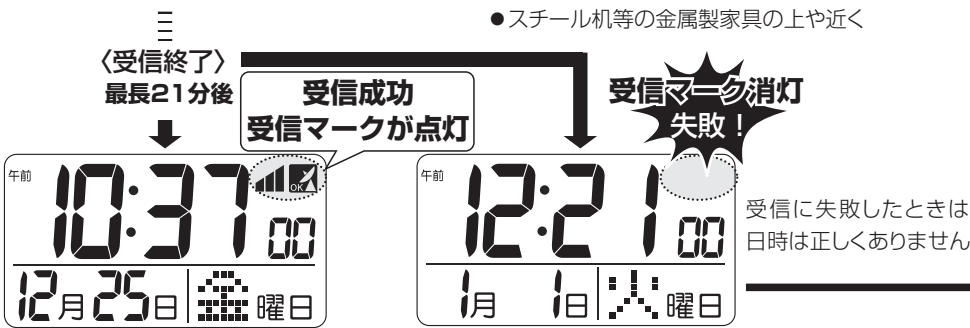
受信マークの変化

電波の状態により変化します。(電波サーチ機能)

受信できない 受信しやすい



チェック!
1〜2分経過しても①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えて**リセット**を押して再度受信を開始させてください。



- 受信マークが点灯し受信成功を示しても、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。このようなときは、場所を変えてから**リセット**を押して再度受信を試みてください。
- 受信マークは、受信成功後、24〜25時間点灯します。

電池を入れたときに「ピー」と鳴らないときは、**戻る**を押しながら**リセット**を押してすぐに離して、「ピー」と鳴ったら**戻る**を離してください。

電池の交換について 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

注意 電池の液漏れにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池の液漏れや発熱、破裂を防ぐために、次のことをお守りください。

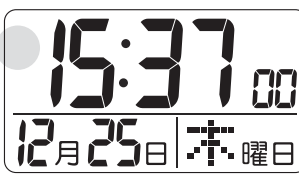
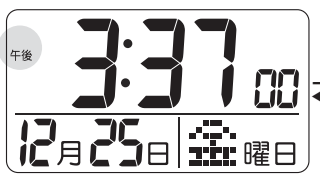
- 液晶表示が薄くなった、表示の一部が欠けた、アラーム音が鳴らなくなったときは、速やかに電池を交換するか、電池を取り出す。
- 動いていても1年に1回定期的に交換する。

12/24時間表示の切り替え

12/24H切替を押すたびに、午前/午後表示付きの12時間と24時間表示が切り替わります。

(12時間表示)

(24時間表示)



次のようなときは、表示の切り替えができません。

- 電波の受信中
- アラームが鳴っているとき
- アラーム時刻や日時を設定しているとき

2. アラーム機能の使いかた

-1. アラーム時刻の合わせかた

- ①**アラームスイッチ**をOFFにする
アラームが鳴っているときは、アラーム時刻を設定できません。
- ②**進む**または**戻る**を押す
「アラーム」の文字が点灯し、アラーム時刻が点滅します。12時間表示のときは「午前」または「午後」の文字も点滅します。
- ③**アラーム時刻**を合わせる
進むまたは**戻る**を押して、アラームを鳴らす時刻に合わせます。
- ④**アラーム時刻合わせ**を終わる
約5秒間ボタン操作をしないと**設定が終わり**、現在時刻の表示になります。

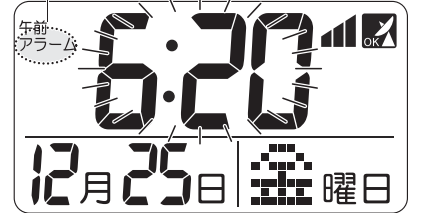
-2. アラームのON/OFF設定

ON : 設定時刻にアラームが鳴る。
ONにするとアラームマークが点灯します。ONにした直後の3秒間はアラーム時刻、その後は現在時刻を表示します。

アラーム時刻は常時表示されません。アラーム時刻を確認するときは、アラームスイッチをOFFからONにしてください。約3秒間アラーム時刻が表示されます。

OFF : アラームを止める、鳴らさない。
アラームマークが消灯します。

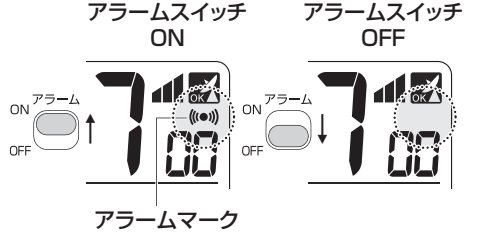
アラーム時刻のときは「アラーム」が点灯します。



表示例 アラーム時刻を午前6時20分に合わせる。

◆午前/午後の表示に注意

表示されていない場合は24時間の表示です。



アラームオートストップ機能(自動鳴り止め)
鳴っているアラームを放置すると、鳴り出してから約2分で自動停止します。

アラーム音を試聴するには
アラーム時刻を現在時刻より1〜2分先にして、アラームスイッチをONにしてください。設定時刻にアラームが鳴ります。

アラームご使用上の注意
アラームスイッチがONのときは、毎日アラームが鳴ります。アラームを使用しないときは、アラームスイッチをOFFにしてください。

標準電波が受信できないとき

- 朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える/受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に向くように置き直し、**リセット**を押して結果を確認します。

手動での時刻合わせ…電波が受信できないとき、任意の日時に合わせるとき

操作例に従って、西暦年、月、日、時刻(時、分)の順に設定してください。

年月日、時刻(時/分)でのボタン操作

操作例 2015年12月25日午前10:37に合わせる

点滅している数値を**進む**または**戻る**で合わせてから**時刻合わせ**を押すと数値を確定して次に進みます。

- 約30秒間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。
- アラーム時刻の設定中やアラームが鳴っているときは、日時の設定はできません。
- 受信機能がONのときは、受信に成功すると日時は自動的に修正されます。
- 標準電波を受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。



電波受信機能のON/OFF切り替え操作

受信機能 OFF 標準電波を受信しない

受信機能 ON 標準電波を受信する

リセットをおよそ1秒間隔で3回押してください。

戻るを押しながら、**リセット**を押すと「ピー」と鳴って受信を開始します。その後に**戻る**を離してください。

○「ピー」と鳴ってから押してください。

標準電波を定期的に受信を試み、受信に成功したときは、日時を自動修正します。

○3回目は「ピー」と鳴りません。

○日時は手動で合わせてください。また、時刻の遅れ進みも手動で修正してください。

- 操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。
- 回路内に電荷がなくなると、次に電池を入れたときに受信機能がONになります。

強制受信とリセット操作

強制受信

リセット

場所を移動したときなどに、受信を試みたいときに使います。受信に失敗しても日時は継続して表示します。

電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。

次のようなときは受信を開始しません。

リセット直後は、2008年1月1日午前12:00、アラーム時刻は午前6:00に設定され、受信機能がONのときは、受信を開始します。

- アラームが鳴っているとき
- 手動でアラーム時刻または日時を設定しているとき
- 受信機能がOFFになっているとき

静電気による誤作動について

静電気の影響により、表示が欠けたりして正常に機能しなくなることがあります。このようなときは**リセット**を押してください。